

第1章のハイライト

- ・ 物質の物理的性質を定義し、例を挙げる(1.1章)
- ・ 物質の状態(固体、液体、気体)を区別し、その特徴を示す(1.1章)
- ・ 分子運動理論の基本になる考え方を理解する(1.1章)
- ・ セルシウスとケルビン尺度で温度を変換する(1.1章)
- ・ 密度を使って、物質の体積と質量を関係づける(1.1, 1.7章)
- ・ 密度は体積対質量の比で定義される(密度=質量/体積)。化学では一般に立方センチメートル当たりグラム数の単位で密度を表す。
- ・ 元素の名前と元素記号の対応を付ける(1.2章)
- ・ 用語の原子、元素、分子、化合物を正しく使う(1.2, 1.3章)
- ・ 化学的、物理的変化の違いを説明する(1.1, 1.4章)
- ・ 均一、不均一混合物の違いが分かる(1.5章)
- ・ メートル単位の大きさを変える接頭辞の使い方が分かっている(1.6章)
- ・ 単位の変換、計算に次元解析を使い始める(1.7章)
- ・ 精度と確度の違いが分かる、さらに有効数字の使い方を理解している(1.7章)
- ・ 化学で百分率の考え方をを用いる(1.7章)